



まちのトピックス



キャンプ飯講座

立神峡里地公園において開催されたキャンプ飯講座に、親子3組8人が参加しました。

この日は飯ごうを使った炊き込みごはん豚汁の同時調理に挑戦。火加減に注意しながら、おいしく作る事ができました。

また、ロープワーク体験も行い、紅葉深まる秋の立神峡で、充実したキャンプ活動を楽しんでいました。



氷川町子ども会 モルック大会

屋内ゲートボール場において、各地区の子ども会によるモルック大会を開催しました。

今年の競技は、例年のビーチボールバレーからモルックに変わり、白熱したリーグ戦の結果、鹿島子ども会Bチームが優勝しました。

モルックは子どもたちにも徐々に普及しているようで、ハイレベルなプレーで大会を盛り上げてくれました。



くまもとふるさと食の名人に感謝状贈呈

「くまもとふるさと食の名人」の河野京子さん(有佐・左)と北原智美さん(若洲・右)に、活動15年の感謝状が贈呈されました。

2人は平成20年からこれまで、高校での調理指導や料理教室などを通して郷土料理などの普及啓発活動を続けてきました。感謝状を受けた2人は「これからも料理を通して氷川町にある農産物のおいしさを伝えていきたいです」と話しました。



囲碁大会

まちづくり酒屋において囲碁大会が開催され、44人の囲碁愛好者が参加しました。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となった今大会。参加者はAからFの6つのブロックに分かれ、1人あたり4局ずつ対局しました。

実力拮抗で白熱する対局も多くあり、参加者は真剣な表情で碁を打っていました。



クリスマスケーキ作り

桜っ子クラブ(子ども会)の小学生83人が「ふるさと食の名人」の河野京子さんや八代農業高校の先生・生徒を講師に、クリスマスケーキ作りを行いました。

子どもたちは、クリームの塗り方などを教わりながら、それぞれ持ち寄ったお菓子や飾りを使って思い思いにデコレーションを楽しみ、素敵なケーキを完成させました。



男女共同参画社会づくりのために

氷川町男女共同参画推進懇話会委員と町職員を対象に、「防災・災害時に必要な男女共同参画の視点」をテーマとした研修会を行いました。

防災士の甲木喜一郎さんによる講話では、自然災害や防災に関する内容や自身の経験を交えた話がありました。参加者からは「災害時にも性別に対する固定観念をなくし、あらゆる人の立場に立った配慮が大切だと感じた」という感想があり、とても有意義な研修となりました。



社会体育指導者の資質向上を目指して

社会体育団体指導者の資質向上を目指して、文化センターにおいて社会体育指導者研修会を開催し、指導者など23人が参加しました。

公認スポーツ栄養士の松葉絵美さんによる講話では、ゴールデンエイジとスポーツと栄養に関するテーマのもと、運動能力が発達する期間に必要な栄養などについて話があり、参加者は真剣な眼差しでメモを取っていました。



婦人会 カローリング大会

竜北体育センターにて氷川町婦人会カローリング大会を開催し、各支部から参加した8チーム・47人の会員が交流を深めました。順番や作戦を練るチームなど多様で、ジェットローラーを握る手にも力が入り、楽しくゲームが展開されました。

試合結果

優勝 立神支部 準優勝 高野道支部
3位 法道寺支部・下鹿島支部